

# 第24回那覇地区中学校軟式野球春季1年生強化試合要項

1. 主催 那覇地区中学校体育連盟野球専門部
2. 期日 令和4年12月17日(土)～令和5年2月11日(土)
3. 日程 令和4年12月17日(土)～令和5年2月5日(日) 1回戦～3回戦  
令和5年2月11日(土) 競技開始 9:00(準決勝・決勝戦)  
予備日 2月18日(土)
4. 会場 令和4年12月24日(土)～令和5年2月5日(日) 当該校で調整  
令和5年2月11日(土) 各学校会場
5. 申込締切日 令和4年12月2日(金)までに専門部長へ参加の有無を回答する
7. 申込方法 (1)大会参加申込用紙是那覇地区中体連野球専門部HPからダウンロードし、必要事項を記入後、  
学校長の捺印を受け、試合当日に各会場の本部へ7時30分までに提出する。  
(2)各チーム試合球3球、ロジン1個を持参する。
8. 企画運営責任者 那覇地区中体連野球専門部  
大浜淳一、石原孝之、渡嘉敷光範、安里博文、宮國稔基、仲村竜太、一安裕次郎、宮良淳、當間栄太、  
野原大輝、石山和明、根間誉、久高陵太郎、上田直哉、島袋剛、下里洋介、山城千尋、足立忠敬、大城祐樹  
伊佐常克、多和田真司、大城征一郎、比嘉政人、謝花廉、仲本政毅、瑞慶山良樹、照屋駿介、仲座康一  
仲間賢治、中山邦彦、宮里哲平、安村勇馬、山城慶太、座波清匡、仲村俊哉、高良政之、比嘉佑他
- 運営委員 那覇地区中体連加盟校に所属する野球部全顧問
9. 参加資格 (1)那覇地区中体連加盟校に在籍する1年生で編成されたチームで、1校1チームとする。(合同チームも認める)  
(2)学校長が選手として本大会に出場を許可したものであること。  
(3)1チームは、選手20人、記録員2人、監督1人、コーチ2人の計25人とする。  
※但し合同チームに関してはその限りでない(監督・コーチは最大4名以内とする。)  
(4)選手の引率は、出場校の校長・教員とする。監督等については校長・教職員(常勤)とする。教職員以外のコーチに  
ついては、学校長の認めた者で、地区・県に登録された者とする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。  
(5)硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。  
(6)参加資格の特例を認める。「開催基準8(6)複数合同チーム」(県に準ずる)  
(7)那覇地区中学校体育連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者  
(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から  
懲戒処分を受けていない者であること。校長はこのこの点を確認して、大会申請書を作成する。なお、外部指導者は  
校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
10. 競技規則 2022年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟特別競技規則、大会細則を適用する。  
投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、下記の通りとする。  
・大会中の1日の投球制限・・・100球  
・1週間の投球数・・・350球  
※試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
11. 大会規定 (1)トーナメント方式とする。  
(2)競技形式はトーナメント方式及びアテスト方式とする  
検討事項 (3)1チームの選手参加人数の上限は規定しない。監督、記録員はそれぞれ1人、コーチは2人とする。  
(4)背番号は、原則としてポジション順とする。21番以降の選手についても背番号を着用すること。  
(5)試合は7回戦とし、得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。なお、決勝戦にも適用する。  
日没・降雨などで試合が成立しない場合は、特別継続試合(サスペンテッドゲーム)を適用する。  
(6)7回を完了して同点の場合は、のタイブレーク方式とする。(継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の  
打者を二塁の奏者とする。すなわち0アウト・二塁の状態にして行う。)10回を完了しても決着がつかないときは、  
抽選で勝敗を決定する。ただし、決勝戦の場合は、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決定するまで  
タイブレーク方式を続行する。  
※天候の都合で日程変更がある場合は、本部で協議の上、特別ルールを設定する。
12. 試合球 全日本軟式野球連盟公認内外ボールM号球とする
13. 組合せ (1)令和4年12月14日(水)に行う
14. 表彰 優勝チームには賞状、準優勝・3位のチームには賞状を与える。また、個人賞として殊勲賞・敢闘賞・打撃賞一位を  
表彰する。(個人賞は決勝戦進出校から選出し、打撃賞は準決勝、決勝戦をあわせた規定打席4打席以上の打者とする)
15. その他 (1)チームの責任は、引率者において、一切負うものとする  
(2)今大会の上位4チーム(合同チームを除く)には、第33回 那覇地区中学校軟式野球1・2年生強化大会へのシード権を与える

# 第24回那覇地区中学校軟式野球春季1年生強化試合細則

1. 試合時間 (1) 試合時間は100分とし、その60分前までには集合する。  
(2) 連続試合の場合は間隔を30分とする。
2. オーダー交換 (1) オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(5部提出)  
(2) 攻守決定は、前の試合の4イニング終了時(第1試合は試合開始45分前)に監督立ち会いの上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。
3. ダックアウト (1) 抽選番号の若い方が1塁側とする。但し、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。登録された監督、コーチ、選手、記録員以外のベンチ入りは禁止する。  
(2) ダックアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止。  
(3) ダックアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内1個とする。)
4. シートノック (1) シートノックは、全試合後攻より行う。時間は5分間とする。  
(2) シートノック時のみ、補助員(5名以内)を認める。なお、ユニフォーム、ヘルメットを着用すること。(2年生可)  
(3) ノッカーは、ユニフォームを着用する。  
(4) 1日で2試合を行うチームは、シートノックを1試合目のみ行う。なお、天候などにより球場を移動して試合を行う場合は、本部に確認の上、シートノックを行う場合もある。  
※天候の理由でシートノックを行わない場合もある。その場合は試合時間を早めることもある。
5. 応援 (1) 選手・応援団は中学生としてふさわしい応援をする。(野次はつつむ)  
(2) 応援は攻撃側のチームが優先に行う。  
(3) 会場によっては太鼓による応援を禁止する場合もある。
6. 守備側と攻撃側のタイムの回数制限 (1) 捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は、7イニングで3度以内とする。  
なお、延長戦(タイブレークも含む)となった場合は、1イニングに1度行くことができる。  
また、攻撃側についても同様とする。
7. 監督が投手の所へ行く回数の制限 (1) 監督が1試合に投手の所へ行く回数は 3回以内とする。なお、延長戦(タイブレークも含む)は、1イニングに1回行くことができる。  
(2) 監督が同一イニングに同一投手の所へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自動的に交代しなければならない。なお、他の守備についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。
8. 用具 (1) リストガード、バットリング、トレーニングバット、マスコットバット、スプレー(滑り止め)の使用を禁止する。  
(2) 手袋は、原則として「白」または「黒」を主にした高校野球対応の手袋を使用する。  
(3) 全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が完全に消えた用具は使用できない。  
(4) 捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.・SGマーク)が入った捕手用ヘルメット・マスク・スロートガード・プロテクター・レガースとファウルカップを使用すること。また、打者・走者・次打者・ベースコーチ・バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が入った両側にイヤラップ(内側にはスポンジ等)のついたヘルメットを使用すること。
9. 試合のスピード化 (1) 打者・次打者・ベースコーチの4名は攻撃前のミーティングには参加せず、所定の場所に移動すること。  
(2) 投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球すること。  
(3) 捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板を踏んで投球姿勢をとること。  
(ランナー無し・・・12秒以内に投球、ランナー有り・・・20秒以内に投球 ※詳細は競技者必携にて確認)  
(4) 次打者席では、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。  
(5) サイン交換は迅速に行うこと。打者はバッターボックス内でサインを見る。
10. その他 (1) チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォームを着用する。グラウンドコートも同様とする。尚、監督・コーチのシューズについても同色とする。  
(シューズ・スパイクにおいては令和4年度までの大会において色の混在を認める。なお、高校野球対応のものとする。) コーチ(教職員)の服装は平服でもよい。また、記録員はユニフォームか制服とする。  
(2) ストッキングの形をしっかりと統一する。  
(3) 選手交代は、監督が球審に告げること。  
(4) 球場内においての試合前の練習はユニフォームを着用すること。  
(5) 芝生保護のため各球場において正規のシートノック以外はスパイク以外で行うこと。  
(6) 球場内のバッティング練習は、バント・トスバッティング(1対1)までとする。  
(7) 試合中のアップ(キャッチボール)については2組(4名以内)とする。  
(8) 審判は各校から成人1名、中学2年生以上1名の計2名を派遣する。審判員は2・3年生の野球部員または父母の協力を得て良い。  
(9) 準決勝からは那覇地区中体連野球専門部職員で行う。

※ 大会参加に当たり、氏名、学校名、学年及び対戦結果、記録、画像等を主催者が発行・販売する大会冊子、出版物、ホームページ、及びマスコミへの公表に使用することがあります。